

「私が“協力する”というより、
 たくさんの方に“協力隊”していただいた3年間でした。」

地域おこし協力隊 さしき 左治木 悠子



はじめは何とか柏倉家を引き継がなければという思いが強く、気張っていたと思います。でもその様子を見て何かあれば手助けしてくれたのが指導員の井上さんであり、同期の前田さんであり、柏倉家に入出入りする黒塚のまちなみ保存活用協議会の皆さんや岡地区の皆さん、シルバー人材センターの皆さん、大学の諸先生方など、書ききれないたくさんの方にお世話になりました。

1年目に九左衛門家の当主から「ここで見聞きしたこと・感じたことがひとつでもあなたの人生のどこかで活きたら良いと思うの」という言葉をかけていただき、今でも心に残っています。自らが興味を持つと、身の回りにたくさんの魅力的な物事や人に溢れていることに気づきます。柏倉家が、それぞれの人にとっての魅力を見つけることができる場所であり続けてほしいと思います。

柏倉家を通じて毎日たくさんの方の事を楽しく勉強させていただき、好きなことを追究してもらいました。大きなデザインを担当させていただいたり、趣味の延長だった古物やカルチャーに携われて、想像以上に刺激的な3年間であつたという間でした。たくさんの方に気にかけていただき、お話しして下さった方一人ひとりにお礼の気持ちでいっぱいです。

これからも中山で楽しくたくさんの方の事を吸収しながら、皆さんにさせていただいたように、新しく中山に来る方に中山の面白さを伝えられるようになれたらと思います。



「周りの優しさで3年間楽しく走り続けられました！」

地域おこし協力隊 前田 真莉子

※ここでは旧柏倉家住宅（九左衛門）・旧柏倉惣右衛門家住宅（惣右衛門）を合わせて柏倉家と表記します。それぞれの家のことを示す場合は、九左衛門・惣右衛門と記載します。

1年目（平成30年度）

- 3月…協力隊着任、ひなまつり初参加
 4月…中山町クリエイティブ部入部、「柏倉家住宅保存・利活用基本計画・実施計画」作成開始
 5月…全国地域おこし協力隊研修（3日間）
 6月…金比羅樽流し初参加、ふるさとCM大賞の製作開始、子ども教室「高取山登山」
 7月…九左衛門で職業体験、紅花まつり初参加、豊田小学校でのゲスト授業、全国かぶと虫相撲大会初参加（なかやまのなか初出店）、子ども教室絵はがき講師、岡千手観音堂仏像しつがい悉皆調査を提案

8月…九左衛門で職員研修、おかやまのし岡雨印の紅花制作開始、柏倉家の温度・湿度測定開始

9月…元祖芋煮会in中山でワークショップ参加、岡千手観音堂仏像悉皆下見調査

10月…ふるさとCM大賞中山CM完成披露、ほんわ館まつり「スギヤマカナヨさんワークショップ」参加、ひなまつり展示企画開始

11月…資料のクリーニング・移動、北蔵の収蔵庫化・旧保育園空き教室の倉庫化開始、ひな人形の調査・目録作成開始、縁の品漆器類の調査開始

1月…からまがるマルシェ初参加（なかやまのなか出店）、ながさき幼稚園餅つき初参加
 3月…ひなまつり開始
 など

2年目（令和元年度）

4月…第1回中山町地域おこし協力隊活動報告会、惣右衛門石山太柏作品群の調査、岩谷十八夜観音奥の院探検

5月…子ども教室「名札作り」、中山町芸術文化協会「地域おこし協力隊トークショー」、九左衛門当主聞き取り調査・事業書類整理開始、惣右衛門当主・家族聞き取り調査開始

6月…文化財保存修復学会第41回大会参加、置賜民俗学会シンポジウム参加、東北芸術工科大学講師を務める

8月…柏倉家団体ガイド開始、中山町郷土研究会口頭発表、柏倉家仏壇清掃・仏具磨き・建築専門家による庭園視察開始

9月…九左衛門庭園植栽図作成、柏倉家一般公開用備品・消耗品選定開始
 10月…惣右衛門主屋の家財・資料引っ越し作業開始、新地域おこし協力隊と意見交換会

2月…中山町郷土研究会講演会の企画「地域資料から読み解く地域像」、岡千手観音堂仏像悉皆調査報告書編集・印刷製本開始

3月…柏倉家一般公開シミュレーション、柏倉家新事務所へ引っ越し

など

柏倉家での維持管理・調査研究・特別公開の企画等、基本的な学芸員の業務の土台を作ることから活動を始める一方で、中山町での初めての地域おこし協力隊ということもあり、様々な団体からイベントにお声がけいただきました。中山町のことをもっと知りたいという気持ちと、私たちの存在がめぐり巡って柏倉家を知ってもらうことにもつながると思い、できる限り参加させていただきました。

また、「今、私たちがしていること・感じていること」を発信する場所としてSNS（なかやまのなか）を始めましたし、「広報なかやまでコラムを書いている人ね」と認知されることが多くなりました。



長期間におよんだ聞き取り調査

2年目から岡地区のお母様方に“柏倉家”の清掃と風通しの協力を仰ぎました。これは指導員の井上利昭さんの人望により成り立つもので、私はハタキ片手に偉そうに指示出しをしていました。いつもフレッシュなガールズ母ちゃんたちのお陰で“柏倉家”の建物に再び艶と清々しさを取り戻せたと思います。

また、岡千手観音堂の仏像調査や、惣右衛門のご家族から主屋の資料1点ずつについてエピソードを伺う聞き取り調査を実施しました。この頃、中山町郷土研究会や故・烏兔沼宏之先生が発行した本を読み、記録物として残すことの重要性を感じ、いつかアーカイブ事業に取り組みたいと考え始めました。1年目よりもありがたいことに仕事の幅が広がりましたが、一般公開やひなまつりの展示準備が重なり、慌ただしさは増すばかりでした。

1年目 (平成30年度)

- 3月…協力隊着任、ひなまつり初参加
- 5月…全国地域おこし協力隊研修(3日間)、なかやま健幸くらぶポスターなど制作開始
- 6月…紅花まつりポスターなど制作開始、子ども教室「高取山登山」
- 7月…九左衛門で職業体験、紅花まつり初参加、豊田小学校でのゲスト授業、全国かぶと虫相撲大会初参加(なかやまのなか初出店)、子ども教室絵はがき講師
- 8月…九左衛門で職員研修、花笠パレード初参加、岡雨印の紅花制作開始、レクリエーション大会でぬぐい制作開始、健康と福祉のフェスティバルチラシ制作開始、岩谷十八夜観音例祭初参加
- 9月…オクトーバーフェストin中山初参加、ふるさと回帰支援センターの移住フェアに中山町ブースで参加
- 10月…ふるさとCM大賞中山CM完成披露
- 11月…西村山郡地域おこし協力隊意見交換会初参加
- 12月…ひなまつりポスターなど制作開始
- 1月…からまがるマルシェ初参加(なかやまのなか出店)、ながさき幼稚園餅つき初参加
- 3月…ひなまつり開始、岩手・秋田視察(3日間)

2年目 (令和元年度)

- 4月…第1回中山町地域おこし協力隊活動報告会
- 5月…企業版ふるさと納税パンフレット制作開始、紅花まつりポスターなど制作開始、お不動様祭典初参加、なかやま健幸くらぶポスターなど制作開始
- 6月…中央公民館大掃除
- 7月…紅花まつり開始、九左衛門一般公開向けデザイン制作開始、東南村山移住セミナーチラシデザイン制作開始、地域おこし協力隊起業セミナー①参加、東北六県移住フェアに中山町ブースで参加
- 8月…地域おこし協力隊起業セミナー②参加(2日間)
- 9月…西村山郡地域おこし協力隊意見交換会参加、東南村山移住セミナーに中山町ブースで参加、元祖芋煮会in中山初参加(なかやまのなか出店)
- 11月…惣右衛門YUKIHIRACOFFEEイベント
- 1月…からまがるマルシェ参加(なかやまのなか出店)
- 2月…女性まつり初参加(なかやまのなか出店)

など



すべてが初めての体験でした

もともと住んでいた方のお話を聞きながら、柏倉家の片付け整理を行ったことが思い出深いです。広い敷地なので大変な面もありましたが、色々なエピソードや暮らしのお話を聞くことができ、毎日新鮮な発見がありました。日々の暮らしの積み重ねと長い歴史が地続きになっていること、それを残すことの大変さや想いを体感として感じられ、貴重な経験をさせていただきました。文化財としてのエピソードに限らず、中山ならではの暮らしの文化や慣習についても教えていただき、中山の面白さへの期待が確信になった1年でもありました。

1年目は左治木さんと指導員の井上さんと一緒に作業が多かったですが、2年目になると自然と役割分担ができてきました。夏ごろからは一般公開に向けてデザイン業務を本格的に始めました。スタッフの方々にも様々な意見をいただき試行錯誤。デスクワークが多くなるにつれ現地の維持管理業務に参加できる回数が少なくなってしまい、申し訳なさや寂しさがありました。最終的にはロゴを初めとしてポスター、チラシ、web、チケット、キャプションなどなど、町内企業の方とも一緒にたくさんものを作らせていただきました。



3年目（令和2年度）

5月…柏倉家春の大掃除（煤払い・畳干し・雨樋清掃・鳥獣侵入対策）、ひな人形仕舞い作業
 6月…柏倉文蔵家の家蔵資料整理開始、東北芸術工科大学文化財保存修復学科学生の卒業研究協力開始

7月…九左衛門・惣右衛門一般公開開始、岡千手観音堂町民向けパンフレット作成、「知事と若者の地域創生ミーティング」参加

8月…一般公開マニュアル資料作成開始

9月…柏倉家にて専門家視察・団体見学の案内対応、柏倉家秋の大掃除

10月…村山地方創生懇談会参加、来年のひなまつり展示企画開始

11月…「企業版ふるさと納税御礼芋煮会」漆器・会場準備、コミュニティスクール研修会参加

12月…柏倉家維持管理の年間作業マニュアル作成開始、柏倉家除雪・雪下ろし、「中山町を語り合おう」合同座談会参加

1月…地域おこし協力隊報告会の企画開始、「移住・定住の促進に向けた意見交換会」リモート会議参加

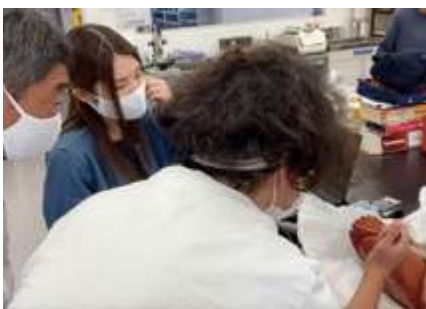
2月…地域おこし協力隊報告対談会の冊子作成、一般公開「ひな飾り」企画準備、協力隊退任など

3年目は新協力隊のほかに、教育委員会が採用する管理員も増えました。技術や文化の継承をするには丁度良い年齢・性別・専門層であり、「文化財チーム」は“山形らしい”3世代家族のような形になりました。ここから年間計画に沿ってより細分化した作業を開始し、山形の四季に合わせて、煤払いや畳の虫干しのほかに大切なお仏壇の清掃も行いました。

施設を管理することで何よりも重要なのは引き継ぎと情報の共有です。一人で抱え込まず、継続性を保つことが何よりも難しいです。でも作業を1つずつ習慣化すると余裕が出てきて、初めて祭り事や新たな取り組みができると思うのです。ただ、偉そうなことを言っておいて、私は抱えたものが多すぎて終わらないこと多数。ああ、一番あかんやつ。



岡地区の皆さんと一緒に大掃除。ちょっとした休憩タイムです。



芸工大でひな人形の染料調査



講師として参加した芸工大での講義



岡千手観音堂の調査を実施



作成した岡千手観音堂のパンフレット



岡千手観音堂世話人と資料整理



ひなまつり展示の準備作業

3年目（令和2年度）

4月…九左衛門新型コロナウイルス感染拡大防止のために休館対応（3日間）、事務所リノベーション開始

6月…柏倉文蔵家の家蔵資料整理開始

7月…九左衛門・惣右衛門一般公開開始

9月…東南村山移住セミナーチラシデザイン制作開始

10月…地域おこし協力隊県知事意見交換会参加

11月…弘前大学移住調査インタビュー

12月…東北芸術工科大学総合美術コースゲスト講師、中山町地域おこし協力隊活動報告会デザイン制作開始

2月…東南村山郡地域おこし協力隊意見交換会参加、協力隊退任

など

3年目になるとまずやってきたのが新型コロナウイルス。九左衛門ではひなまつりの中止や一般公開の延期、ほかにも活動報告会などのイベントが中止となり、協力隊にも大きな影響がありました。大雨や地震、大雪など、ここ2年間でなかった自然災害も多く、様々な予定が想定外の方に。一方で新しい協力隊や柏倉家のスタッフも増え、自分たちでやってきたことを誰でもできるように引き継ぎしていくことがメインとなりました。私は主にデザインの説明書のようなものを作りました。7月からは延期になった一般公開が始まり、ガイドや受付業務も始まりました。また、協力隊卒業後は中山町に残ってフリーランスのデザイナーとして起業することを決断し、その準備を並行して行ってきました。書類整理や事務所のリノベーションなど、こちらも試行錯誤しながら進めています。（未だ現在進行形）



案内看板やキャプションもデザインさせていただきました。7月10日、九左衛門・惣右衛門の一般公開が始まりました。感慨深さと不安と緊張の1日。ここまで長かったような短かったような…。



隅から隅まで丁寧に掃き掃除



みんなで蓮池の掃除もしました



新たな活動拠点に…！



作成した「岡のほん」



「なかやまのなか」初出店



資料整理にもご協力いただきました

「これまで」と「これから」

地域おこし協力隊活動報告会対談

左治木悠子×前田真莉子

×佐藤恒平

佐藤 今日3年間の振り返りとこれからの進路についてお聞きしたいと思います。まずは、1年目の業務について教えてください。さ。

左治木 1年目のメインは引き続きで、当主からお話を聞きながら柏倉家の維持管理や掃除の仕方など教えていただきました。引き継ぎ書類などはなかったので、口伝をメモしたり、写真をとったりしてまとめています。

佐藤 前田さんも1年目は一緒に活動を？

前田 そうですね。左治木さんと一緒に一般公開に向けて片付けをしていました。デザインをする上で柏倉家の魅力や地元の人々の思いを知るいい機会でした。

佐藤 前田さんはデザイナーさんですが、柏倉家の維持管理・活用が業務内容であった中山町の地域おこし協力隊に応募した理

由は何だったんですか？

前田 もともと古い物や建物が好きだったんです。あと、一度見学したときに「面白いものがいっぱいある！」という気持ちが強くなったからですかね。

佐藤 なるほど。

佐藤 1年目は片付けから始まったと聞きましたが、やってみてどうでした？

左治木 良くも悪くも想像を超えていましたね。資料としていたいくものと残すものがある程度整理された状態で業務を任せられると想定していたのですが、私たちが着任したときはまだ生活したままの状態が残っていましたから。「文化財」というイメージで入ってきたので驚きました。でも、逆に生活資料がそのまま残っているのは魅力的でしたね。ここで生活していた人たちの歴史を汲み取りながら作業できました。

佐藤 僕たち一般の人は形になっ

た文化財しか見ることができないですけど、文化財にしていく過程って研究者や学芸員の視点から見たら、ものすごく価値のあるものですよ。

左治木 周りから見たら「全て処分してもいいんじゃない？」と思われがちですけど、灰皿一つであっても、なぜここにあるのか、どんなストーリーが隠されているのかを発掘するのも楽しみの一つですね。

佐藤 では、2年目の活動を聞く前に、おふたりの第一印象を聞いてもいいですか？

前田 まじめでクールでバリバリ仕事します！みたいな人だと思っていて、すごくちゃんとしたといけない…って。でも話すうちに左治木さんが末っ子だとわかったし、「緊張しい」なところも可愛いと思いました。

左治木 最初から話しやすい雰囲気がありました。緊張しいかなので不安だったんですけど、前

司会進行役を務めた佐藤恒平さんといえば…

皆さんもご存じ「桃色ウサビ」の生みの親で、コミカルな動きで場を盛り上げる中の人ご本人です。着ぐるみキャラクター「桃色ウサビ」による朝日町のPRを皮切りに、ふるさと納税、地域学校教育などの分野で実験的な手法による地域振興プロジェクトを手がけています。平成26年には、地域振興サポート会社「まよひが企画」を開業し、自身が提唱する成功事例を模倣しない活性化手法「非主流地域振興」によって、地方自治体や公益団体の事業サポートを行っています。



まよひが企画
代表 佐藤 恒平さん

田さんがフランクな方で助かりました。実は1年目に他市町村の協力隊と何度か交流する機会があったんですけど、前田さんが行くときだけ一緒に行って、前田さんが行かないときは私も断ってました（笑）。

前田（笑）。



懐かしいエピソードに思わず笑顔

佐藤 2年目の活動はどのように変わりましたか？

左治木 一般公開に向けて本格的に準備が始まりました。ある程度引き継ぎも片付けも終わって、展示品をどう見せていくかの話し合いが始まりました。

前田 私たちが3年目の4月にオープン予定だったので、2年目の目標はとにかく間に合うよ

うに形を整えることでした。何を展示するか、どういう解説をつけるか、どういうストーリー性を出すか。私の場合はポスターやパンフレット、案内看板などの必要最低限のものを提案してデザインして…。

佐藤 時間が足りないですね…。

左治木 ちょうど2年目に国の重要文化財に指定答申していただいて、そこでまた柏倉家の価値が変わったことで見せ方が固まりました。

佐藤 準備という見えない部分で作業をしていると、地域の人から「この人たちは何をしているんだろう」と思われることもありますが、そのあたりはどうでした？

前田 岡地区に頻繁に出入りするのでご挨拶させていただきましたけど、皆さんとても優しくかったです。「山形は大変でしょう」とか「こんなものあるのよ」とか。
左治木 それと、指導員さんが岡地区出身だったので色々なところに連れて行ってくれたのが大きいですね。

前田 たしかに。指導員さんがいてくれたからこそここまでこれたし、

お父さんのような存在ですね。
佐藤 2年目の後半は全力疾走しないといけない時期でしたよね？

前田 そうですね。左治木さんに催促されるくらいデザイン業務に遅れが出たり、町内企業の方と案内看板の作成をしたり。私はほぼパソコンとにらめっこ状態でしたので、現場での準備に参加できなくて申し訳なかったです。

左治木 2年目は本当に人が足りなくて、岡地区のお母さんたちにお手伝いをお願いしました。岡地区全体で柏倉家を支えていくという土台作りもしたかったし、個人的に岡地区内の仏像調査も入っていたので、本当にバタバタでした…。

佐藤 おそらく一番濃い期間でしょうね。事前にいただいた活動記録を見ましたけど、2年目の欄が真っ黒でした（笑）。

佐藤 それでは最後の年になる3年目の活動を聞かせてください。

左治木 新型コロナウイルスが拡大し、ひなまつりは中止。一般公開も延期になって休養期間になりました。

佐藤 一般公開が始まってからは？
左治木 日々魅せる窓の開け方や、わかりやすい解説を研究しながらガイドを務めています。

前田 ガイドをしながら新しい地域おこし協力隊の2人へ引き継ぎをしています。デザインの説明書を作成したり、ウェブサイトの更新の説明をしたり。

佐藤 旅先のホームページを見ることは基本ですし、頻繁に更新されるホームページは安心しますから大切なことですね。

佐藤 それでは最後に、今後の進路を聞いてもいいですか？

左治木 すごく悩みましたが、まだまだ中山町の文化財を知りたいと思います、職員採用試験を受けて、4月から町職員として働かせていただく予定です。

前田 私は2月1日付でフリーランスのデザイナーになりました。町内にいるので柏倉家のお手伝いもしていきたいなと思います。まだまだ柏倉家を知りたいし、町の面白いものを発信したりしたいです。

佐藤 本日はありがとうございます。新しい目標に向かって2人とも頑張ってください。

伊藤一之×稲垣圭祐
×佐藤恒平

佐藤 まずは自己紹介をお願いします。

伊藤 昨年の2月に着任した伊藤一之です。観光関係の業務に携わっています。

稲垣 昨年の4月に着任した稲垣圭祐です。柏倉家の維持管理と調査研究をしています。

佐藤 おふたりの活動を聞かせてください。

伊藤 自分がもともとやっていた観光や、地域振興の活動を活かせるようにと、8月に教育課から産業振興課に移動させてもらいました。中山町は、観光資源は豊富ですが、それを観光産業に活用するにはあと一歩が足りていない状態だと思います。柏倉家を守っていく意味でも、中山町全体の観光資源を活用し、盛り上げていきたいです。

佐藤 コロナ禍で様々なものが停滞したこともあり、一つの活動に徹するよりも、町全体の観光を考えて、課をコンバートしたんですね。

稲垣 私が着任したのは新型コロナ

ウイルス真っ只中の4月。中山町に来て初めて命じられた仕事がまさかの「自宅待機」でした。大学では江戸時代を中心に勉強していて、博物館学芸員の資格を持っていたこともあり、中山町に来る前は博物館でアルバイトなどをしていました。柏倉家も江戸時代から続いてきた歴史ある建物なので、歴史の面で調査研究を進めています。



稲垣圭祐さん

佐藤 中山町の地域おこし協力隊になろうと思ったきっかけを教えてください。

伊藤 栃木県で地域振興活動に参加していました。経験を活かして行く中で「地元の山形に貢献したい」と思うようになり、山形に戻ってから、地域おこし協力隊を募集している市町村を訪問しましたが、一番熱意

があったのが中山町でした。普段だったら通り過ぎてしまう中山町に、逆に注目してみたいと思いました。

稲垣 大学院後の進路を考えた時に、歴史研究や文化財に携わる仕事をしたいと思いました。もともと地域おこし協力隊という仕事を知っていたので、「学芸員」「文化財」をキーワードに調べて、中山町の募集がヒットしました。すぐに連絡をとって、一昨年の8月頃に柏倉家の見学をさせてもらいました。文化財業界において「保存と活用」は永遠の課題と言われるくらいバランスが難しい問題です。中山町で仕事ができれば、自分にとってもいい経験になると思います。

佐藤 文化財として保存したいけれども、利活用しないと維持管理するための収入がない。本当に難しい問題ですよ。

佐藤 今後の活動に活かせる得意なことはありますか？

伊藤 人を巻き込むことが得意です。昨年の10月から観光庁のスキルアップ事業に参加しているのですが、様々な立場の方々と一緒に中山町の新しい観光商品

開発に取り組んでいます。

佐藤 いわゆる着地型観光と言われるような、特定の場所に行つてそこだけ楽しんで終わりでではなく、そこから広がるように楽しめる場所を「自分たちで作りに上げていく」ことが重要な時代になりましたね。

伊藤 そうですね。ワークショップに参加すると「熱い思いを持っている人」の話を聞くことができるので、とても刺激を受けます。

稲垣 博物館が好きで、全国各地の歴史ある博物館を巡っていました。各施設の独自プログラムや取り組みを多少なりとも知っているのですが、そういうところを活かせると思います。

佐藤 柏倉家を活用していく上で、何か提案はされましたか？

稲垣 具体的な提案はまだできていないので、これから調査を進めながら考えていきたいです。まずは保存が必要です。例えば、モノそのものも大事ですが、モノとヒトとの関係を知ることができる情報の保存も必要です。そうした情報がモノの価値になっていきます。道のりは長い



着任してもうすぐ1年 次の目標は…

ですが、それが調査研究の面白さですね。

佐藤 なるほど。おふたりはいま別々の課にいますが、課が違うからこそ協力してやっていけることがありそうですね。

佐藤 最後に、これからやっていきたいことを聞かせてください。

伊藤 ①町内で活動されている方たちをつなげる役になる。②町の特産品開発や、近隣市町村と協力したツアーを企画する。

稲垣 ①柏倉家に関する資料を調査する。②一般公開の中で当時

の雰囲気を楽しめる展示を増やします。

伊藤 最上川河川敷の活用とかも考えたいですね。自然に人が集まるし、目の前に温泉もある。そこを中心に何かできれば…。春から秋にかけて多くのキャンパーが集まる場になっていてるので、キャンパーの方々向けに何か提供できるサービスなども考えたいです。



伊藤一之さん

稲垣 大人も子どもも一緒に地元の魅力を発表する機会を作って、その発表内容を冊子にする「地域の教科書づくり」を企画してみたいです。そして、自分たちの地域の文化財や歴史を、町内外の人に伝えていける光景を当たり前前にしたいです。

佐藤 「普段見ているものには、こんな価値があるんだよ」って

知ってほしいですよ。地元をPRするために、まずは地元の人が地元を楽しんで、その楽しさを色々な場所で伝えていけるような地域づくりを目指してほしいです。

左治木悠子×前田真莉子×
伊藤一之×稲垣圭祐×
佐藤恒平

佐藤 これから中山町が続けていくべきこと・守っていくべきこととは何だと思えますか？

稲垣 柏倉家やお達磨の桜といった名所だけでなく、ここから見る景色が好きとか、そういったことに目を向けられる町であってほしいです。

伊藤 伝統や古くからの遊びなどを残したまま発展していくことが大切だと思います。

前田 私はオナカマの文化がとても好きなので、お祭りをどうにかして続けてほしいです。あとは初市のだんご木売りとか。根本は変えずに、現代に合わせた形の初市にしても面白いと思います。

左治木 私も前田さんと一緒ですね。中山町アーカイブを作って、町にはこんなものがあるよっていうのを書物として残していきたい。平成の最初に無くなってもあるのは驚きです。

佐藤 中山町がこれから発展させていくべきことは？

伊藤 柏倉家周辺の黒堀をもっと活用したいですね。町外からきた人にとってあの場所は映えスポットらしいです。例えばですけど、惣右衛門をVIP層向けの宿泊施設にしたり…。できるかどうかは別にして、そういった可能性を常に考えていきたいです。

稲垣 まずは、地域に興味を持っている人と、そうでない人をつなげたいです。異なる考え方を共有できる空間づくりを町全体でしていきたいです。

左治木 とにかく中山町は面白い人が多いと思います。好きなことを好き勝手にやっているというか(笑) そういった人にスポットを当てたい。

前田 さっき話した中山町のアーカイブを作ることこそそうですし、

特集 私たちのこれまでとこれから (地域おこし協力隊活動記録)

柏倉家で作業されている職人さんたちに注目してみたり、町内のお地藏さんを集集してみたり。：。「中山町は何もない」と皆さん言いますが、当たり前にごいことをしている人がたくさんいると思います。

佐藤 文化も色々な光の当て方があるから、アイデアも多様でいいですね。

佐藤 最後に、一緒に作っていきたい中山町の未来を教えてください。

稲垣 繰り返しになりますが、自分たちの地域の魅力に興味を持ち続けて、探求し続けて共有し合える町を作りたいです。大人から子どもへだけでなく、子どもから大人へ考えを話し合えるような関係であってほしい。

伊藤 伝統や文化を守りながら、次世代へ価値が引き継がれるようにしたい。あとは町民の横のつながりをもっと強固にしたいです。

前田 タガマヤとかオナカマとか、大きなところに例えると、東京の高円寺とか吉祥寺みたいな要素を中山町は持っていると思います。少しベッドタウンでカル



和気あいあいとした様子で進む新旧協力隊の対談

チャー寄りの町になったら面白いです。そんな中山町がいいなと思っ足運んでくれる人が増えるといいな。あとは住みやすい町であってほしいです。すこやかというか…。

左治木 「この町はこれだ」というよりは、色々な要素があるから、町全体を見て面白いと感じてほしいですね。どれかにハマって

～地域おこし協力隊活動報告パネル展示のお知らせ～

- 中央公民館 1階ロビー
4月12日(月)～25日(日)午後4時
- ひまわり温泉ゆ・ら・ら ロビー入浴棟通路
4月28日(水)午後1時～5月6日(木)
- 町立図書館ほんわ館 1階ギャラリー
5月8日(土)～14日(金)午後4時

※下記の日程で協力隊がお待ちしています！
4月14日(水)・21日(水)の午後5時～7時
4月17日(土)・24日(土)・25日(日)の午後1時～4時

※お問い合わせ先 nakayamanonaka@gmail.com

くれて、そこから住んでくれたら嬉しいです。色々な人がいるからこそ否定されない、必ず誰かに認められる町であってほしいです。
佐藤 4人それぞれの考えがあった面白かったです。地域おこし協力隊の活動をきっかけに、より多くの人とつながってほしいですね。

そして…

地域おこし協力隊退任式

2月26日に、3年間地域おこし協力隊を務めた左治木悠子さんと前田真莉子さんの退任式が役場庁舎で行われました。

佐藤町長から「東北の山形という地に来て、3年間活動してくれて本当にありがとうございました。活動の中で新たに発見した目標に向かってそれぞれ頑張ってください」と感謝と激励の言葉が贈られました。



3年間お疲れ様でした